

Shichi-Sho-Ho-Koku (七生報国) Lyrics (in Japanese)

1) Admiral(歌詞)

Music & lyrics: □□□□□

明け方前に裸足のままで列を成し
垢に塗れ使われた
小さな体黄色い肌に黒い髪
僕らは劣等種

富(ゆたか)で強く大きな国に
憧れ羨んでズボンを履いて
背伸びしたって指をさされて
笑われるだけじゃないの

ゼット旗揺らめいて
四方(よもう)海原荒れたとしても
いざ断てよ白の首輪を
反旗の激昂

いつからか彼の神が
色で人を隔てたのなら
争うこと 望むなら
貴方は何色に染まるのか

叩かれて脅されて泣かされて耐え忍ぶ
長い時間の中で
月明かりだけ頼りに僕らはずっと
爪を研いでいた

足元見られて搾取されて
慌てて気付いてカタナを捨てて
決まりを守る良い子でいても
舐められるだけじゃないの

聞こえるか 黄も黒も
五族も等しく泣き笑う
椅子を空けろ 耳を貸せ

五族も等しく泣き笑う
椅子を空けろ 耳を貸せ
此岸泰平(しがんたいへい)の唄

解き放て 種の檻を
天気晴朗なれど波高し
相容れぬ 互いを繋ぐ
海は青のまま変わらぬのに

2) 七生報国-The unfailing devotion-(歌詞)

Music & Lyrics: ☐☐☐☐☐

生まれ変わるなんて
ありえないことと
知っているんだ
僕が僕で
いられるのは
今生まで

でもいつかこの身が
土に帰り野に花を
咲かせることができるのなら
できるのなら

何度も
生まれ変わって報いることは
できなくても
流した
血と涙が礎となり
残ればいい
新たに
芽吹きだした
小さな命にはあなたの
面影が
かすかに見える

時代が代わり
全ての形が
変わって行くんだ
足元には
踏まれた勲章
忘れられて

風と土になって
守り続けると決めたあの日
あの場所には何もなかった

守り続けると決めたあの日
あの場所には何もなかった
何もなかった

繰り返す
過ちに今泣き続けて
偽る史実
乾いた
泥に塗れた在りし日の
人の華を
優しく
摘み活けるのは
汚れた僕とあなたのその手
今すぐ
目を覚まして

何度も
生まれ変わって報いることは
できなくても
流した
血と涙が礎となり
残ればいい

新たに
歩きだした
小さなあなたの現身(うつしみ)が
今から
作り上げる
過ちのない美しい世界
どうか信じていて

5) Border(歌詞)

Music & lyrics : 仲邑将太郎

そう 少しずつ
見えてくる
記憶の底に

もう 伝わらぬ
忘れられた
彼らの呼び声

引き裂かれた
人間の距離に
時が影を落として

荒れ果てる
始まりの故郷へ
帰れない

Border □□□□□□

その瞬間に
全てあなたは
気付いてた

Border □□□□□

僕の片割れを

遮る 壁を打つ
冷たい雨

うすら笑って
油断し過ぎた
あなたはきっと今日も

約束された
甘い一日
過ごせると信じているの

奪われたモノ
遺されたモノ
一つ一つ拾い集め

想いはせる
最後の国へ
戻りたい

膝を抱えて
震えた夜に
恐れた大人と
同じ僕は

触れる者全て
傷付けるだけの
砕かれ 尖鋭な
ガラスの欠片

Border □□□□□□
その瞬間に
全てあなたは
気付いてた

Border □□□□□

僕の片割れを
遮る 壁を打つ
冷たい雨

6) ニチリン (歌詞)

Music & lyrics: □□□□□

悲しみ臥さる街
崩れ落ちた夢の跡
赤い血が黒い焦土を冷ますような
今日に至るまで

物言えぬ鎮守の慰みと
遺民の未来
願うため
祈るため
翼を切って
痛みに耐えて

憐れまれた優美な君よ
気高く
尊く
常しえに
時世が孕む咎を背負う
その身は
ニチリンと
成りますように

冷たい檻の中で
語らぬ孤独の青
勇ましく散らすその命ですら
何一つ自由も持たず

こぼれた涙の滴が
乾かぬうちに
飢える者
凍える者
全てを抱き
救われるよう

捧げられた憂いの君よ
優しく
得難く
長しえに
慈しみ賜る若葉は
繋いで
伝えて
共におります

7)Stepmother(歌詞)

Music & lyrics: ☐☐☐☐☐

初めましての挨拶は
こそばゆそうにかわされた
甘えたい盛りのあなたは
お姉さんと私を呼んだ

手を繋がないのは
あなたの恥じらいじゃなく
私に勇気が足りなかったから

ごめんね 幼い瞳を染める
落陽よ 私に代わって抱いて
寂しそうに 声を殺して泣かないで
小さな 影法師 連れて

曇りのない笑顔見せて
あなたが発って幾日か
届いた手紙に記された
お別れと救いの言葉

寂しくなかったのは
ずっとわかっていたから
あなたがあなたでいてくれたのだから

寂しいのは
これからの長い時間
重なる季節に彷徨って
全て済んだら
帰っておいでここが
あなたと私の帰る場所

覚えていますか
私が「若過ぎる」と
言われたあの頃
今はもう遥か遠くなって
今度は「老け過ぎた母親」だなんて
言われるかしら

普通の親子でありたいと望んだ
こんなにも残酷なことか
私とあなたの時間の壁が
泣きごとを言ってもいいかしら

ごめんね 頼りなき愛を許す
有明よ 私に代わって迎えて
叶うなら

もう一度会いたい
私は今日もあなたを待つ

Always being your mother